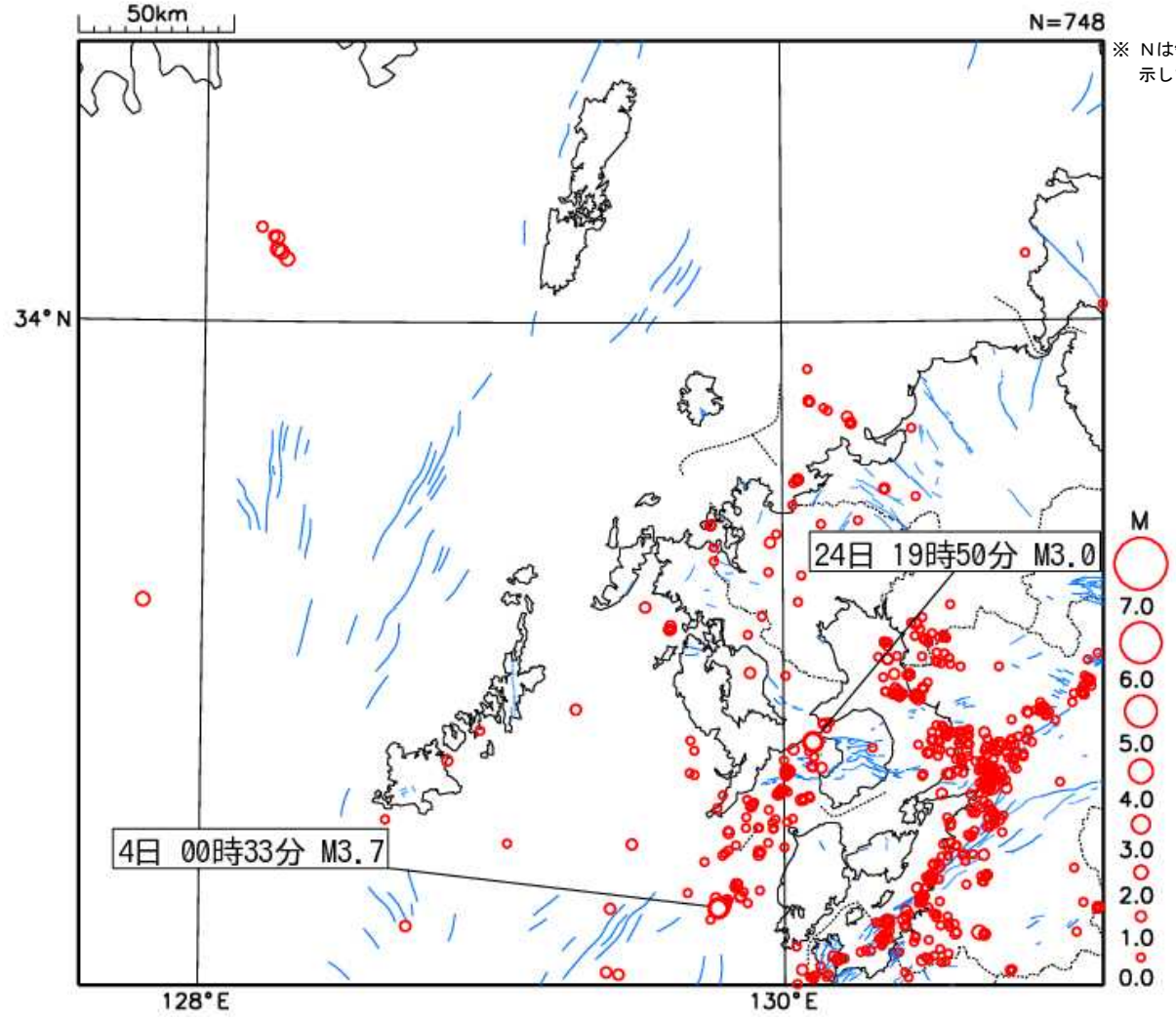
長崎県の地震活動概況（2022 年２月）

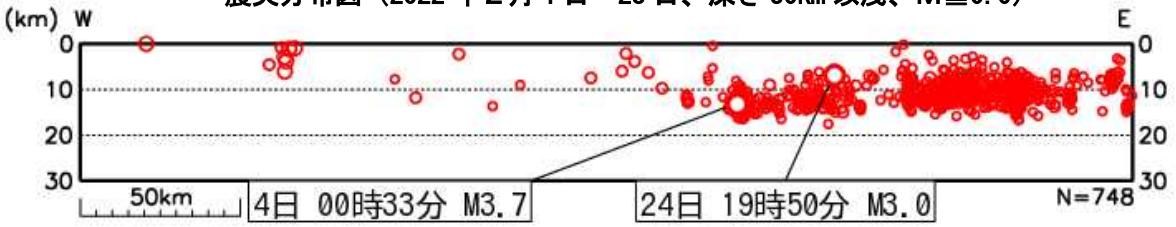
令和４年３月８日
長崎地方気象台

地震活動の概況（2022 年２月）

２月に長崎県内で震度１以上を観測した地震は２回でした（１月は３回）。詳細は２～３ページのとおりです。



震央分布図（2022 年２月１日～28 日、深さ 30km 以浅、M≧0.0）



断面図（2022 年２月１日～28 日、深さ 30 km以浅、M≧0.0）
（震央分布図を南の方から見た断面図です）

※ 本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す（活断層のデータは新編日本の活断層による）。

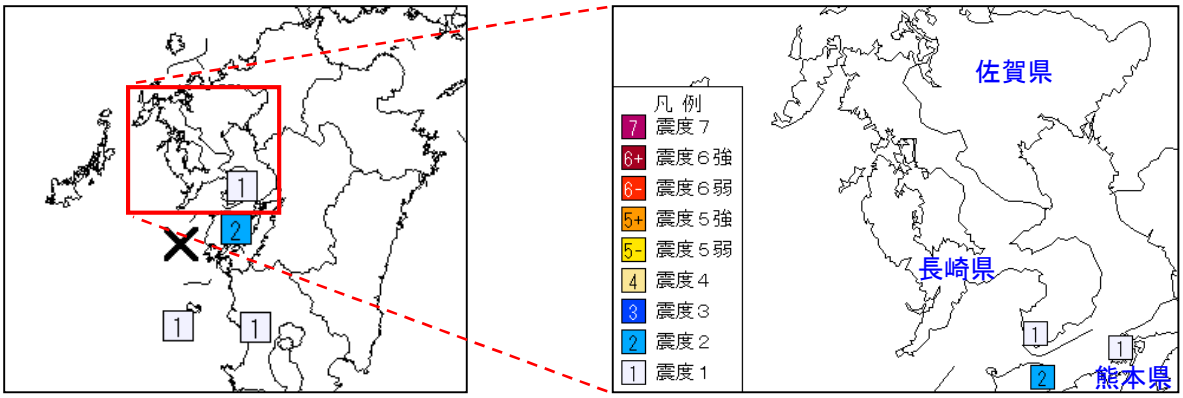
※ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS） の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※ 2020 年９月１日から 10 月 23 日、2021 年１月９日から３月７日、及び４月 19 日から 12 月５日まで、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、これらの前後の期間と比較して微小な地震での震源決定数の変化（増減）がみられることがあります。

天草灘

４日 00 時 33 分に天草灘で発生した M3.7 の地震（深さ 13 km）により、熊本県で震度２を観測し、長崎県では南島原市で震度１を観測しました（図１）。

今回の地震の震源付近（図２領域ａ）では、M３以上の地震が時々発生しており、2019 年９月 28 日に発生した M4.0 の地震（深さ 14km）により、長崎県では南島原市で震度２を観測したほか、長崎市、諫早市、雲仙市及び時津町で震度１を観測しています（図２、図３）。



２月４日 00 時 33 分　M3.7

図１　震度分布図（左：地域別、右：観測点別　×：震央）

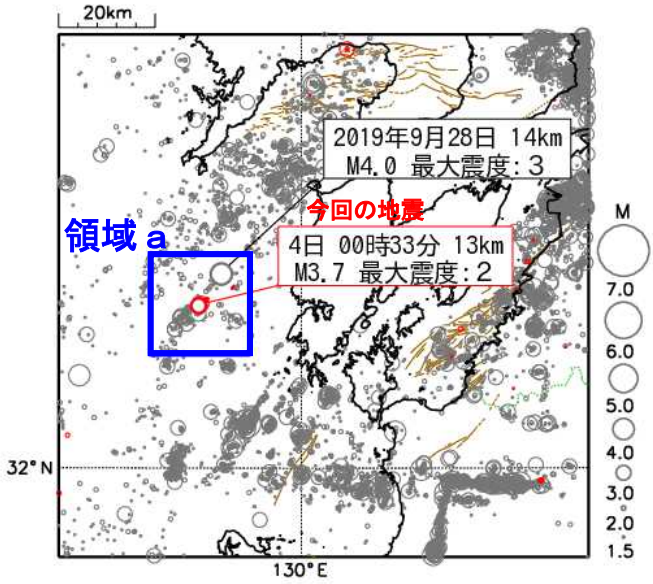


図２　震央分布図

（1997 年 10 月１日～2022 年２月 28 日 深さ０km～30km M≧1.5）

※2022 年２月１日以降の地震を赤で表示

※図中の茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

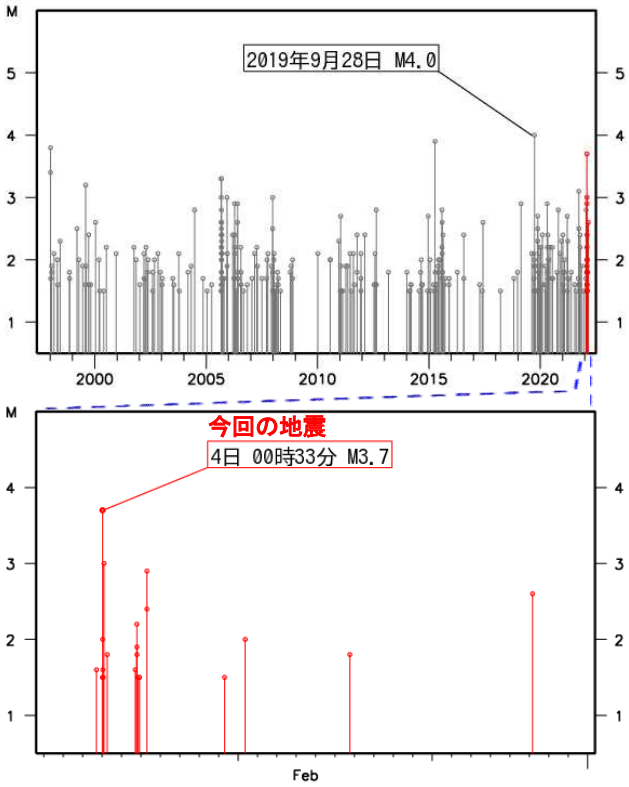


図３　図２領域ａ内の地震活動経過図

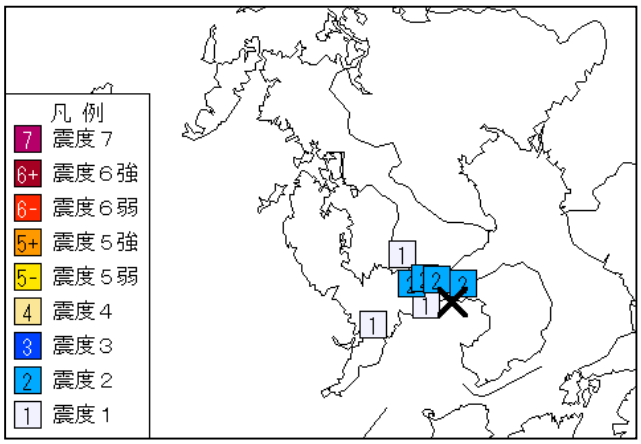
（上段：1997 年 10 月１日～2022 年２月 28 日、M≧1.5

下段：2022 年２月１日～2022 年２月 28 日、M≧1.5）

橘湾

24 日 19 時 50 分に橘湾（情報発表に用いた震央地名は「長崎県南西部」）で発生した M3.0 の地震（深さ７km）により、長崎県諫早市で震度２を観測したほか、長崎市及び大村市で震度１を観測しました（図４）。

今回の地震の震源付近（図５領域ｂ）では、M３以上の地震が時々発生しており、2017 年６月９日に発生した M4.3 の地震（深さ 16km）により、長崎県では諫早市で震度４を観測したほか、県内の広い範囲で震度３～１を観測しています（図５、図６）。



２月 24 日 19 時 50 分 M3.0
図４　震度分布図（観測点別　×：震央）

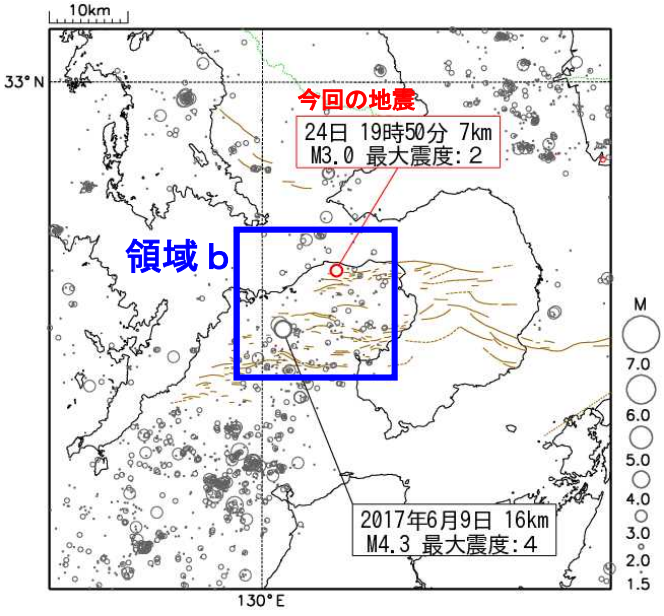


図５　震央分布図
（1997 年 10 月１日～2022 年２月 28 日 深さ０km～30km M≧1.5）
※2022 年２月１日以降の地震を赤で表示

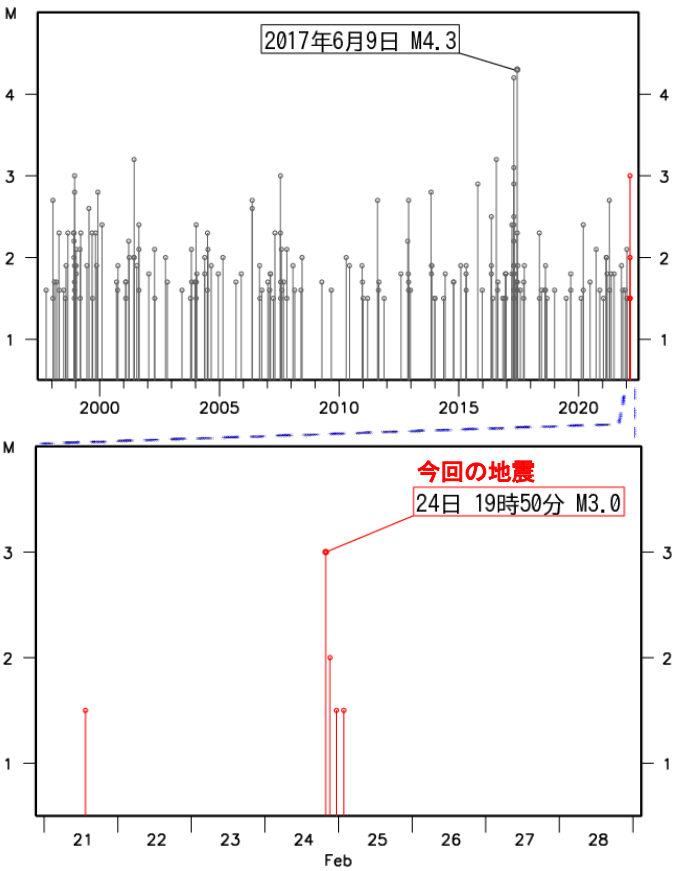


図６　図５領域ｂ内の地震活動経過図
（上段：1997 年 10 月１日～2022 年２月 28 日
下段：2022 年２月 21 日～2022 年２月 28 日）

※図中の茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

長崎県内で震度１以上を観測した地震の表（２月１日～28 日）

地震発生時刻 各地の震度	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
2022 年 02 月 04 日 00 時 33 分 震度　１ ： 南島原市加津佐町＊	天草灘	32゜18.2’N	129゜46.4’E	13km	M3.7
2022 年 02 月 24 日 19 時 50 分 震度　２ ： 諫早市東小路町,諫早市堂崎町＊,諫早市多良見町＊,諫早市森山町＊ 震度　１ ： 長崎市元町＊,諫早市飯盛町＊,大村市玖島＊	橘湾	32゜47.0’N	130゜06.0’E	7km	M3.0

注）　震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。
＊を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。